

G.C.I. news

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN
 TEL.+81-572-22-5381 / FAX.+81-572-25-1163
 URL:<http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>
 Mail:info@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute
 岐阜県セラミックス研究所
 since 1911 TM

■「平成29年度中小企業技術者研修」を開催します

当研究所では、中小企業の技術者の皆様の技術力向上の一助として頂くため、技術者研修を開催しております。本年度は、窯業製品の不良品発生時の原因追及の有効な手段である各種分析装置の原理やこれを用いた原因追及の事例等を紹介する研修を企画いたしました。

是非ともご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

○研修日時：平成28年11月14日(火)・11月21日(火)・11月28日(火) 各回とも 13:00～17:15

○研修場所：岐阜県セラミックス研究所研修室（多治見市星ヶ台3-11）

○受講対象：県内中小企業者又はその従業員

○定員：20名程度(受講者多数の場合は、受講者を調整させていただく場合がございます。)

○研修内容：11/14(火)「XRD・XRFの基礎から応用・実用例、装置選定のポイントまで」

講師：株式会社 リガク X線機器事業部 応用技術センター 葛巻 貴大 氏

株式会社 リガク X線機器事業部 SBU WDX 大阪分析センター 本間 寿 氏

11/21(火)「熱分析装置の基礎から応用・実用例、装置選定のポイントまで」

講師：株式会社 リガク X線機器事業部熱分析機器事業部 SBU熱分析

益田 泰明 氏

11/28(火)「粒子特性評価の新たな挑戦 粒子径分布測定 -分散・凝集の評価など-」

講師：株式会社 島津製作所 道下 晃 氏

「測定装置を使用した測定方法の基礎と応用」

講師：当研究所職員

※なお、3日間出席の方には修了証書を交付します。

○受講費用：1名につき 620円 (受講者数により受講費用は変動しますのでご了承ください)

受講料の納入は、受講決定後に送付する納入通知書により、11月7日(火)までにお願います。

なお、受講決定後のキャンセルは承りかねますので、日程等十分に確認のうえ、お申込み頂きますようお願いいたします。

○申込方法：当所HP掲載の申込書にご記入の上、10月18日(水)までにFAXまたは郵送にてお申し込み下さい。

○申込先：岐阜県セラミックス研究所

〒507-0811 岐阜県多治見市星ヶ台3-11

電話：(0572)22-5381 FAX：(0572)25-1163 (研修担当：安達・加藤)

■国際陶磁器フェスティバル美濃'17 でRe-食器の展示を行いました

平成29年9月27日(水)から10月6日(金)の10日間にわたり、セラミックパークMINOにおいて、「GL21 地球にやさしい焼きものを目指して」と題したRe-食器の展示を行いました。

GL21では、陶磁器関連企業や岐阜県セラミックス研究所などの公設試験研究機関、自治体などが集まり、陶磁器食器のリサイクルを行っています。展示では、映像によるリサイクルの取り組み事例の紹介や、Re-食器の展示を行いました。来場者からは、

- ・大切に使っていた食器をゴミにしてしまうのはもったいない。リサイクルできるとうれしい。
 - ・陶磁器がリサイクルできるなんてすごい。
 - ・リサイクルでも普通の陶磁器と変わらない。
 - ・釉がとてもきれいで使ってみたい。
 - ・かわいいので孫に買ってあげたい。
- などの声が聞かれました。



Re-食器は、不用となった陶磁器食器を20%または50%配合して作られており、資源循環やCO₂排出量削減に寄与できる環境にやさしい陶磁器製品です。これからも製品の魅力や認知度の向上を目指して活動していきたいと考えています。

■「祥瑞の技法を学ぶ講座2」を 開催しました

平成29年9月1日(金)から10月6日(金)までの毎週金曜日に全6回の講座を開催しました。(主催:岐阜県陶磁器デザイン協議会、共催:岐阜県セラミックス研究所)

この研修は、毎年当所で行われている「染付研修」の一環として行われたもので、前回に続き陶磁器デザイナーの瀬瀬保男氏をお招きし、東洋の雰囲気を出す「祥瑞」の技法をテーマとしました。



今回は祥瑞に加えて「芙蓉手」や「ペルシャ文様」などを取り入れることで、より応用的な内容となりました。

